

北斎、日本に帰る

Vol.11

### 『鍋冠祭図』

葛飾北斎筆

綴プロジェクト作品  
(高精細複製品)

綴TSUZURI  
文化財未来継承プロジェクト

## 北斎が描く、奇祭に集う女たち。

頭に鍋をかぶった女たちが、神主のもとへ。二曲一隻の屏風「鍋冠祭図」のユーモラスな情景は、滋賀県筑摩神社の今も続く祭礼を描いたもの。女が前年に褥を重ねた男の数だけ鍋をかぶるといふ日本三大奇祭の一つだ。この世のあらゆるものに関心を抱く北斎は、晴れの日に集う田舎の女性を、活き活きと描いた。ほつれた髪や、裾の乱れはあか抜けないが、どこか色気が漂う。手で顔を隠し正面を向く女は、鍋の数をごまかしているのか。楽しい祭の賑わいがよみがえる。

庶民の暮らしを描く「鍋冠祭図」は、フリーア美術館のコレクションでもユニークな作品です。高価な絵具や金粉を贅沢に使っていることから、裕福な者の注文で描かれたのでは、と考えられています。当時の祭と人々の姿を鮮やかに残す貴重な作品を、高精細複製品で、日本のみなさまにもじっくりとご覧いただけます。

日本の美を、人へ、

未来へ、伝えていく。



なべかんむりまつりす

綴プロジェクト作品 鍋冠祭図 葛飾北斎筆

原本所蔵：スミソニアン協会フリーア美術館 寄贈先：墨田区（収蔵先：すみだ北斎美術館）

Facsimiles of works in the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C. : Gift of Charles Lang Freer, F1904.177.



詳細は、公式サイト  
でご覧いただけます。  
[global.canon/ja/tsuzuri](http://global.canon/ja/tsuzuri)

#### 公開情報

八月二日(日)まで、すみだ北斎美術館にて綴プロジェクト作品「鍋冠祭図」「遊女図」を公開予定。詳細は美術館ホームページでご確認ください。

Canon